

新変異型 欧州で拡大

英で確認 日本は水際対策強化

南アフリカなどで見つかった新型コロナウイルスの「オミクロン型」が欧州の一部に流入する恐れが強まっている。アフリカ以外で26日までに香港、ベルギー、イスラエルで感染が確認されたの

に加え、27日には英国でも2件の感染が確認された。岸田文雄首相は27日、アフリカのモザンビーク、マラウイ、ザンビアを対象に水際対策を強めると発表した。（関連記事3面に）

英国で感染者が見つかったのは同国の南部と中部だが、2件は「関係している」（ジャビド保健相）という。ロイター通信によると、27日にはドイツとチェコでも同型の感染が疑われる事例が出

ている。オランダでは26日に南アフリカから到着した2機の航空機に搭乗した乗客約600人のうち、61人に陽性反応があり、オミクロン型の感染が調べている。日本政府は26日に南アフリカなど6カ国からの入国者に検疫所が用意した施設で10日間の待機を求め、新たに3カ国を追加して計9カ国とする。